



当院DMATの紹介と訓練参加報告

2病棟(DMAT) 小川 友輔

DMATとは、Disaster Medical Assistance Team(災害派遣医療チーム)の頭文字をとっており、災害時の急性期において早期に機動性をもって活動できるトレーニングを受けた医療チームを意味します。1チームおよそ5名、医師・看護師・業務調整員(救急救命士、薬剤師、コメディカル、事務員等)で構成され、地域の救急医療体制だけでは対応できない程の災害や事故などの現場に急行する医療チームのことを言います。当院は2011年に広島県からDMAT指定病院として認定され、2014年にはDMAT2隊目が構成され、広島中央医療圏において唯一隊員を有している地域災害拠点病院です。現在の当院隊員は医師2名、看護師7名、業務調整員5名であります。過去に2011年3月東日本大震災、2014年8月広島土砂災害、2016年4月熊本地震、2018年7月西日本豪雨災害に派遣・活動実績があります。災害医療体制の強化に取り組むべく日々活動を行っております。



具体的な活動内容としては毎月第3水曜日に隊員全員が集合し、訓練・研修の活動報告を行い学びの共有、院内災害マニュアルの改訂、次回訓練・研修の打ち合わせ、いつでも災害現場へ出動できるように医療資機材の点検・整理、院内災害訓練開催予定時には災害訓練の計画、訓練参加メンバーに対する勉強会の計画を行っています。そして時には災害医療についての知識・技術の向上を図るためにも各地で行われる訓練等に参加しトレーニングを積んでいます。当院DMAT隊員は皆、災害医療に関してのモチベーションも高く、多くの訓練・研修に参加させていただき学びを深めております。

写真①



9/7関東で開催された令和元年度大規模地震時医療活動訓練(写真①)

写真②



写真③



10/26、27山口県で開催された中国ブロックDMAT実働訓練(写真②、③)

写真④



写真⑤



11/11広島空港で開催された令和元年度広島空港航空機事故対応総合訓練(写④、⑤)

写真⑥



写真⑦



11/3三次中央病院で開催された令和元年度広島県集団災害医療救護訓練(写真⑥、⑦)

11/20、21岡山医療センターで開催された中国・四国ブロックDMAT技能維持研修

今後の活動として災害医療についての知識や技術の向上をしていく必要がありますが、DMATのことをもっと多くの人に知ってもらうためにも、第一歩として今後院内ホームページに実災害の活動報告や研修参加報告、写真をUPしていきます。

尚、災害医療・DMATの活動内容について興味のある方は、当院DMAT隊長である森田医師、副隊長である原田医師、その他DMATメンバーに一声かけていただけたら幸いです。